

○ワーキンググループにおいていただいたご意見等とその対応について

別紙6

(1)高齢者一般調査(他の調査との共通分も含む)

設問番号	内容	ワーキンググループ時にいただいたご意見等	対応
問1Q3-1	家族構成について	サービス利用者未利用者調査で、介護・介助を受けている人の問いで親が介護しているような家族構成もある。	ご意見を踏まえ、「親」「配偶者の親」の選択肢を追加しました。
問1Q7	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているか	サービス利用にあたっては収入がいくらかより感覚が大事である。	当初削除する案でしたが、ご意見を踏まえ、調査項目として設定しました。
問1Q6	収入について	収入を回答するのはなかなか難しい。特に資産の保有状況を回答するのはハードル高い。	回答者の負担を考慮し、世帯の総収入の設問を削除し、個人の収入のみ調査項目としました。
問2Q1	選択肢のサービス付高齢者向け住宅について	有料老人ホーム等を回答しようとする方にとって、どれを選んだら良いか迷ってしまう選択肢となっていると思われる。	ご意見を踏まえ、選択肢の表記を修正しました。
問2Q1-2 Q2-3	家賃を問う質問について	家賃だけでなく、共益費・管理費を含めた住居費を尋ねるべきではないか。	ご意見を踏まえ、家賃だけでなく、家賃と共益費を含めた住居費を問うように修正しました。
問2 Q2-4	転居理由について	転居するにあたって検討するだけでなく、転居にいたった理由を問う設問が大事ではないか。	ご意見を踏まえ、調査項目を追加しました。
問2Q2-4 Q3	転居の理由、現在の住まいの困りごとについて	転居理由等を求める選択肢の中に、第2回地域包括ケア推進ワーキンググループから日常生活にかかる選択肢が1つ追加されたが、日常生活の選択肢を問うなら他にも多々あると思われる。	住宅の構造を問うものと日常生活の要因を問うものの両方を選択肢に含めるよう修正しました。
	買物や散歩での外出頻度について	日常生活圏域ニーズ調査項目から削除しているが、積極的な外出と消極的な外出で意味合いが異なるので追加すべきではないか。	回答として得たいのは、実際の外出頻度であり、調査項目も多い中で今回は当初案どおりとしました。
問8Q15	地域包括支援センターの認知度について	愛称も記載すべきではないか。	ご意見を踏まえ、愛称、シンボルマークを追加しました。

設問番号	内容	ワーキンググループ時にいただいたご意見等	対応
問8Q11(7)	「その他」の団体や会への参加について	「その他」を回答するのは困難ではないか。	日常生活圏域ニーズ調査においても記載されている項目であり、当初案どおりとしました。
問9Q4 問10Q5 問10Q5-1	病院の通院・入院の有無及び高齢者の死に立ち会った経験	どこで終末を迎えたいかについては、健康な人に質問すると自宅と答えることが圧倒的に多いが、家族や本人が病院等での看護を受ける経験があれば、病院で迎えたいと答える人も多いはずであり、回答者の置かれている環境も踏まえて質問しないと実態はわからないのではないか。	ご意見を踏まえ、本人の入院経験及び高齢者の死に立ち会う経験の有無に関する調査項目を。高齢者一般及びサービス利用者・未利用調査において追加しました。
問10Q3	地域での生活を続けるには、どのような支援をすべきとおもいますか①	地域での生活を続けるためには、居場所の有無も大きい要素ではないか。	ご意見を踏まえ、居場所に関する選択肢を追加しました。
問10Q3	地域での生活を続けるには、どのような支援をすべきとおもいますか②	選ぶことができる選択肢が3つまでとなっているが、3つでは選びきれない。せめて5つまで回答可能とした方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、5つまで回答可能としました。
問10Q4 問10Q4-1	あなた自身に介護が必要になった時にどこで介護を受けたいか。どのような介護を望むか	二つの項目を聞くのに一つの質問となっており、回答しにくいのではないか。	ご意見を踏まえ、①どこで介護を受けたいか②どのような介護を希望するかの二つに分割して調査項目を設定しました。
問10Q4-1	どのような介護を希望するか	選択肢の表現が誤っているのではないか。	ご指摘を踏まえ、選択肢の文言を修正しました。
問10Q6	どこで終末を迎えたいか①	「介護施設」という表現では定義がわかりにくい。	ご意見を踏まえ、「介護施設」としていた文言について、一部修正しました。
問10Q6	どこで終末を迎えたいか②	終末に病院で過ごしたいという選択肢を選ぶ人はほとんどいないのではないか。	前回調査でも病院を選択された方は自宅に次いで多く、経年変化を見るためにも、変更なく選択肢はそのままとしました。
問10Q7	介護サービスの在り方についての考え方	選択肢の表現がおかしいのではないか。	ご指摘を踏まえ、選択肢の文言を修正しました。

※事務局による主な修正

設問番号	内容	ワーキンググループ時にいただいたご意見等	対応
問3Q4	5m以上歩けるか		質問の意図が回答者に伝わりやすくするように質問文に一部文言を追記しました。
問6Q2	電話番号を調べて電話をかけることができるか		質問の意図が回答者に伝わりやすくするように質問文に一部文言を追記しました。
問7Q19	日常生活の中で不自由と感じているのはどんなことか①		質問文及び選択肢においてわかりにくい表現等があったため。一部文言を修正しました。
問7Q19	日常生活の中で不自由と感じているのはどんなことか②		地域包括ケア推進の観点から、必要な調査項目として初回のワーキンググループに提示した案から追加しました。
問10Q3	今後も地域での生活を続けるにはどのような支援を充実すべきだと思うか①		地域包括ケア推進の観点から、必要な調査項目として初回のワーキンググループに提示した案から追加しました。
問10Q3	今後も地域での生活を続けるにはどのような支援を充実すべきだと思うか②		選択肢においてわかりにくい表現等があったため。一部文言を修正しました。
問10Q4	介護を受けたい場所		選択肢の文言を修正しました。

(2) サービス利用者未利用者調査(高齢者一般調査と共通する質問項目除く)

設問番号	内容	ワーキンググループ時にいただいたご意見等	対応
問10Q2 問10Q3 問10Q4	回答方法について	回答者としては次の問題に移る際にどこに進めば良いのかわかりにくい。	ご意見を踏まえ、質問項目の順番や選択肢の順番を変更する等、回答しやすいように変更するとともに、サービス利用者・未利用者それぞれの調査票を作成し、回答しやすいようにしました。
問10Q3	どなたに介護を受けているか	介護・介助を受けている人の問いで親が介護しているような家族構成もある	ご意見を踏まえ、「親」「配偶者の親」の選択肢を追加しました。
問10Q4 (未利用者調査のみ)	利用していない理由について	選択肢の表現が誤っているのではないか。	ご意見を踏まえ、選択肢を修正しました。

※設問番号は、サービス利用者調査のもの(サービス未利用者調査のみの質問項目は除く)

※事務局による主な修正

設問番号	内容	ワーキンググループ時にいただいたご意見等	対応
問10Q4 (未利用者調査のみ)	どなたかの介護・介助が必要か		選択肢に一部「介助」の文言がなかったため、追記しました。
問10Q5	入所の申込みについて		質問する施設を追加しました。

※設問番号は、サービス利用者調査のもの(サービス未利用者調査のみの質問項目は除く)

(3)若年者調査(高齢者一般調査・サービス利用・未利用者と共通する質問項目除く)

設問番号	内容	ワーキンググループ時にいただいたご意見等	対応
問1Q5	生活費をどのように得ているか	専業主婦の場合、生活をどのように得ているか回答しにくい選択肢となっているのではないか。	ご意見を踏まえて選択肢を修正しました。
問1Q6	収入について	専業主婦の場合、本人個人の総収入は回答しにくい。世帯の総収入をとした方が答えやすいのではないか。	ご意見を踏まえて本人個人ではなく世帯の総収入を問う質問に修正しました。
問5Q1 問5Q3	認知症及び若年性認知症の認知度について	「支援を知っているか」という問は漠然としすぎであり、質問の仕方を検討した方が良いのではないか。	ご意見を踏まえ質問文を修正しました
問5Q2 問5Q4	認知症及び若年性認知症に対する支援策について	選択肢2において、在宅の場合はグループホームだけでなく、デイサービス等の記載があった方が、回答者はイメージしやすいのではないか。	ご意見を踏まえて選択肢に一部文言を追記しました。

※事務局による主な修正

設問番号	内容	ワーキンググループ時にいただいたご意見等	対応
問5Q2 問5Q4	認知症及び若年性認知症に対する支援策について		選択肢に記載のあるリビング・ウィルについて、注釈を追記しました
問5Q8	(企業等の)介護と仕事の両立支援策について		介護従事者も働きやすい環境の整備(企業風土醸成)に関する選択肢も必要と考え、選択肢を追加しました。
問6Q7	地域包括声援センターの認知度について		若年者については、場合によっては家族の相談をすることもあるだろうが、認知度を計るのみの方が良いと考え、質問内容を変更しました。
問7Q3~5	文言について		他の選択肢の表現あわせるように修正しました。

(4)事業者調査

設問番号	内容	ワーキンググループ時にいただいたご意見等	対応
—	事業所概要について	圏域について「所在地の」との標記を加えた方がいいのではないか。	ご意見を踏まえ質問文を修正しました。
問5～問7	充実が必要なサービスについて	ケアマネジャーへの質問だが、居宅系と施設系に設問を分けた方がわかりやすいのではないか。	集計にて居宅系ケアマネジャー、施設系ケアマネジャーのデータに分けることができるため修正なし。
問5～問7	充実が必要なサービスについて	なぜその選択肢を選んだのかを聞いた方がいいのではないか。	ご意見を踏まえ質問文を修正しました。
問5～問7	充実が必要なサービスについて	理由記載を求めているが、番号だけでも選んでもらう方がいいのではないか。もしくは、「よろしければ」との記載を加えてみてはどうか。	ご意見を踏まえ質問文を修正しました。
問7	充実が必要なサービスについて	具体的な選択項目を入れた方がいいのではないか。	ご意見を踏まえ質問文を修正しました。
問7	充実が必要なサービスについて	「医療提供体制の充実」や「医療と介護の連携」に関する項目を入れた方がいいのではないか。	ご意見を踏まえ質問文を修正しました。
問7	充実が必要なサービスについて	「〇は複数可」にしてしまうと数が多くなりすぎってしまうので、数を限った方がいいのではないか。	前後の設問と併せ、〇は3つまでとしました。
問11	事業運営上必要な情報について	選択肢5の「民生・児童委員等」とあるが、「民生委員」との記載にすべきではないか。	ご意見を踏まえ、「民生委員・児童委員」に修正し、併せて「老人福祉委員」を追加しました。
問12	介護サービスの質の向上について	選択肢に「介護相談員の受入れ」を加えてもいいのではないか。	ご指摘を踏まえ、「京都市介護相談員の受入れ」を追加しました。
問14	離職者数について	離職者の勤務年数について、ベテラン枠を追加すべきではないか。	ご指摘を踏まえ、3年以上の欄を細分化しました。
問17	処遇改善について	各事業所が取り組んでいること、努力していることを聞いた方がいいのではないか。	ご指摘を踏まえ、自由記載欄を追加しました。